

7月2日	木	14:00 ～ 15:30	歯科医師会 口腔ケア研修会 <第1回> 場所：和医大 紀北分院 参加者：名 内容：「食べることは生きること」 講師：和歌山県栄養士会 紙谷伸子栄養士 在宅で高齢者が生活するための食生活支援では、高齢者の低栄養に注意することが重要です。また、高齢者の「食べる」を持続するためには、口腔機能低下の対応が大切。高齢者は入退院、入退所などで、医療と介護の両方を必要とすることもあり、関係者は情報の共有・連携を深めることで高齢者に自分らしい人生の支援ができる。・・・具体的に、どうすればいいのかという話で今年度の口腔ケア研修会が始まりました。	   
7月6日	月	10:30 ～ 11:30	薬剤師会 出張講座 場所：橋本市 芋生ふれあいサロン 参加者：22名 内容：「薬の正しい使い方」 講師：コジマ調剤薬局 児嶋基樹薬剤師 皆様が体操から講演会への模様替えもてきぱきと動かれスムーズに会が運営されているように感じました。講義の途中でも質問、終了時も質問が多く、熱心さが伺えました。	  
7月13日	木	9:30 ～ 11:00	理学療法士協会 出張講座 場所：橋本市 民生委員高齢者部会 参加者：26名 内容：「フレイル予防」 講師：紀和病院 前田直人理学療法士 プレフレイルと評価された方も、早めに対策を講じれば早くもとに戻ります。筋肉量は1歳年を重ねると1%落ちます。しかし、安静臥床では2日で1%落ちます。外は30度を超える暑い日。夏場は体重を落とさず、仕事や活動を続けていっていただきたい。また、続けられるながら運動、隙間時間の活用等、できる運動を取り入れて続けてみましょう。	    

7月25日	土	9:30 ～ 11:00	医療と介護の連携代表者会主催 セミナー 場所：九度山町 ふるさとセンター 5階大ホール 参加者：58名（医師5名、歯科医師2名、薬剤師9名、行政・事務6名、看護師・保健師21名、PT3名、ケアマネ10名、ソーシャルワーカー2名） 講演 メスから地域へ ～外科医院長が考える切れ目のない医療・介護連携～ 講師 橋本市民病院 院長 中村 公紀（なかむら まさき） 内容 中村先生が過ごされた医大病院でのこと。その経験を土台に橋本市民病院院長として、今後この地域でどのような医療を提供したいかをお話していただきました。 病院のスローガンは「思いやりと情熱で希望を提供する病院」 地域住民のニーズに合った医療提供、ロボット導入による侵襲性の少ない医療提供、圏域内の救急の8割以上を受け入れられる体制作り、組織として存続する・・・等々 多くの使命があること。 その使命を果たすためには、地域の医療・介護・福祉関係者との協働が重要であること。 一人の患者さんの治療・生活を守ることは、病院だけでは不可能であり、チームで支え続けることが大切であること。等 盛りだくさんの内容でしたが、とてもわかりやすい、先生のお人柄がよくわかる講演でした。
-------	---	--------------------	--